

## 2021 年度事業報告

### I. 社会的養護の必要な子どもの自立支援

#### 1. こども・若者未来基金

こども・若者未来基金による、給付型支援を継続しました。

##### ① 通常メニュー

- ・今年度は、28 人 39 件、総額 12,310,000 円の給付を決定しました。給付決定額については、以下の表をご確認ください。

メニュー	件	給付決定額 (円)
くらしスタート	12	2,600,000
くらしサポート	7	4,860,000
まなびサポート	15	2,700,000
資格サポート	1	150,000
つなぎサポート	4	2,000,000

##### ② 緊急メニュー

- ・2019 年度に受けた遺贈を原資とし、募集期間を設定した通常メニューとは別枠で、公的な支援が届きにくい若者へ 10 万円を上限としてできるだけ早いスピードで給付をするもので、今年度は、3 人に助成しました。
- ・「緊急サポート SOS」の趣旨に賛同いただいた企業より、昨年に引き続き 30 万円の寄付がありました。

##### ③ こども・若者未来基金の寄付募集目標は 10,000,000 円とし、基金運営委員会に参加の 3 生協（パルシステム千葉、なのはな生協、生活クラブ生協）とともに寄付募集を呼びかけました。実績は、12,006,743 円と目標を大きく超過することができました。クラウドファンディングを含めた当基金への寄付は 3,522,710 円、3 生協からの寄付は、8,484,033 円でした。生協への寄付者も含め基金への寄付者は延べ 7063 人と、多くの人の参加がありました。

##### ④ ちばこどもおうえんだんの会員や寄付者には、12 月のボーナス時期にニュースレター発送と共に寄付を呼びかけました。3 生協は 9 月から、組合員への個別チラシや HP、店舗へのカンパ箱の設置などの方法で、寄付募集を呼びかけました。

##### ⑤ クラウドファンディングは目標を 200 万円とし 10 月 18 日～1 月 14 日まで実施しました。結果は 792,000 円 77 人の方からの寄付が集まり、手数料・消費税を引いた 696,960 円が振り込まれました。

##### ⑥ 2019 年度よりクラウドファンディングに取り組んでおり、昨年度は目標額をかなり上回る実績で

した。今年度についても同様に取り組んだところ、伸び悩み、結果として目標額を大きく下回る結果となりました。昨年、クラウドファンディングを含め当基金への寄付が増えた要因として、新聞に取り上げられたことが挙げられました。今年は、新聞等のメディアであまり取り上げられなかったことは、事務局として積極的なアプローチが不足していたと反省し、今後の課題とします。

- ⑦ 5月29日（土）基金報告会2020をオンラインにて開催しました。参加者59名。  
2020年度の基金助成状況の報告と2019年度に助成した若者たちのインタビュー動画を上映しました。
- ⑧ こども・若者未来基金のPR動画をリニューアルしました。ホームページに掲載し、基金シンポジウム等で活用しました。
- ⑨ 「社会的養護のこどものくらしと自立を考えるシンポジウム2021」を2回開催しました。第1回は、オンラインのみ。第2回は、昨年中止とした宗次徳二氏を講師として迎え、会場の人数を減らし、オンラインとの同時開催としました。

#### 【第1回】

日時：10月7日（木）10：00～11：30 オンライン

テーマ：「子どもたちに寄り添って」

登壇者：伊藤成美さん（望みの門かずきの里）

柏木真理子さん（千葉県里親）

参加者：46名

#### 【第2回】

日時：10月31日（日）14：00～16：30 場所：千葉商工会議所第2ホール

テーマ：「夢を追い続ければ、奇跡は起こる」

講師：宗次 徳二さん（カレーハウスCoCo壱番屋創業者）

参加者：104名（会場：26名 オンライン：78名）

- ⑩ こども・若者未来基金の周知のため、7月に児童養護施設や自立援助ホーム、母子生活支援施設、千葉県里親会、ファミリーホーム等へ基金の募集要項を送付しました。

## 2. 食糧支援

基金による金銭的支援の他に、昨年末に引き続き7月と12月、これまで基金を給付し、伴走者を通して希望のあった若者に、食糧支援を実施しました。今年度は、首都圏若者サポートネットワークの「若者おうえん基金新型コロナ緊急助成2021」に応募し、助成金を受けることが出来ました。いただいた助成金20万円は、郵送料や箱代、衛生用品等に充当しました。3生協からは、食料品の提供をしていただきました。12月は、3生協に加え、フードバンクからも食糧やマスクを

提供していただき、44名に支援を渡すことができました。

### 3. 就労支援

就労支援については、就労支援をしたいという申出があり、基金に応募する若者の実態を知ってもらうため、自立援助ホームを見るなど案内しましたが、実質的な就労には至っていません。

### 4. その他

- ① 国・県・市へ政策提案するために、今まで5年間支援した若者について、資料を取りまとめています。
- ② 基金の助成対象について検討しようという意見がだされ、今後の在り方の検討を始めました。

### 【参考】

2018～2021年度給付決定状況 (単位：円)

メニュー	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
くらしスタート	4	800,000	10	2,300,000	10	2,490,000	12	2,600,000
くらしサポート	7	5,160,000	6	3,840,000	10	5,652,000	7	4,860,000
資格サポート	3	900,000	1	150,000	1	250,000	1	150,000
まなびサポート	4	1,040,000	3	700,000	7	1,400,000	15	2,700,000
入学金つなぎサポート	1	500,000	0	0	0	0	4	2,000,000
合計	19	8,400,000	20	6,990,000	28	9,792,000	39	12,310,000
緊急サポートSOS	0	0	3	300,000	5	500,000	3	300,000
総計	19	8,400,000	23	7,290,000	33	10,292,000	42	12,610,000

\*表内の数字は決定額で、実際の給付額とは異なります。

2018年度～2021年度寄付額 (単位：円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
寄付総額	7,288,560	8,545,596	12,796,810	12,006,743
(内、3生協分)	6,220,760	6,776,366	7,890,310	8,484,033

## II. 貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業

1. 千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、「ちばこどもおうえん広場 2021&オレンジリボンキャンペーン」の事務局としてオンラインでの開催に携わりました。第1部は、「こどもの人権懇話会」第2部は、マジックショー、ダンスなどの動画を配信しました。
2. ちば子ども虐待防止研究会（通称 JaSPCANchiba23）による第4回研修会「ヤングケアラー～子ども期を取り戻すために～」の開催について情報を共有しました。

### Ⅲ. 里親家庭支援について

1. 千葉県里親大会、里親制度説明会、テーマ別里親研修、3つの県の事業に応募しましたが、相見積りみの結果、県里親大会のみ受託しました。
2. 千葉県里親大会の事業として10月9日（土）に「知ってほしいな、里親のこと」をオンラインで開催し、93人の参加がありました。第1部は、基調講演「知ってほしいな、里親家庭のこと」というタイトルで静岡県の里親、岩崎真知子さんにお話をいただきました。第2部の里親体験談は、里親支援相談員の宇田川政男さんをコーディネーターに3人の里親さんのお話を伺いました。質問コーナーは、すべてチャットでの受け付けでしたが、1部2部ともに多くの質問があり、活発なやり取りができました。
3. 千葉市里親養育包括支援事業に3者JVとして参加しましたが、受託はできませんでした。
4. 千葉市より千葉市里親委託等推進委員の委嘱を受け、「千葉市里親委託推進委員会」に参加し、千葉市における里親推進の状況の把握や、関係機関や他団体との情報共有を行いました。また、委員会の一員としてパネル展示に参加しました。

### Ⅳ. 啓発・広報事業

#### 1. 啓発事業

- ① 社会的養護の子どもたちの暮らしと自立を考えるシンポジウムを2回開催しました。詳細は「Ⅰ. 社会的養護が必要な子どもたちの自立支援」の項をご覧ください。
- ② 千葉県里親大会を開催しました。詳細は「Ⅲ. 里親家庭支援」の項をご覧ください。
- ③ 「こどもの人権懇話会」、ちば子ども虐待防止研究会第4回研修会の開催に協力しました。詳細は「Ⅱ. 貧困家庭・要支援家庭の子どもたちの支援事業」の項をご覧ください。

#### 2. 広報事業

- ① ニュースレターを、7月（総会后）、12月（秋のシンポジウム等の終了後）、3月（年度末）3回発行しました。基金で助成した子どもたちへのインタビューなどを掲載しました。
- ② ツイッターを始めました。フォロワーが増えず、苦戦していますが、今後もおうえんだんの活動の周知に努めます。
- ③ ちばこどもおうえんだんに参加する県内3生協（パルシステム千葉・なのはな生協・生活クラブ生協）の機関紙等で、組合員に向け団体の活動を発信しました。その結果、生協組合員の寄付者が増え、2021年度は、過去最高額の寄付を集めていただきました。

### Ⅴ. 調査研究活動事業

1. 6月に、これまで子ども・若者未来基金で助成した子どもたちの伴走者に、コロナの影響について聞き取りをし、食糧支援につなげました。就職した子どもたちは、比較的安定していましたが、中には連絡が途絶えている若者が数人いました。学生は、オンラインでの授業で友達ができにくい、アルバイトの時間数が減り、飲食店はお店自体が休業や閉店などという状況

にあり、生活に不安を抱えている様子が見受けられました。

## VI. その他

### 1. パルシステム奨学金事業への推薦者の伴走支援

2020年度「パルシステム給付型奨学金モデル事業」及び2021年度「パルシステム給付型奨学金」に推薦した大学生2名の伴走支援を行い、毎月のヒアリング（電話・ズーム・面談）の報告を、3か月に1回及び半年に1回、事業事務局を担っている一般社団法人くらしサポートウィズに提出しました。コロナの影響で、実際に会い食事などしながらの対面は思うようにできませんでしたが、2人ともこの1年の成績はまずまずでした。学年が上がるにつれ、いろいろな悩みも出てくると思われ、伴走支援の重要性も増してくると考えます。

### 2. 「わくわくプロジェクトCHIBA」事務局

コロナウイルスの影響でプログラムの実施をフルバージョンで行うことはできませんでした。11月にフリースタディ習志野の講師の研修として、体験プログラムを実施しました。今後は、フリースタディに通う子どもたちへプログラムを実施できるか検討することになりました。

一方、プロジェクトへの参加者は、この1年で減少し、決まったメンバーだけが参加するという状況でした。今後の人材確保が課題です。

### 3. ちばし地域づくり大学校「地域活動から学ぶ」で、ちばこどもおうえんだんの事業について発表しました。

## VII. 組織運営

### 1. 運営体制

事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催しました。

#### 理事会

開催日	主な案件
4月22日	(1) 第6回通常総会について (2) こども・若者未来基金2020報告会について (3) 3者JVによる千葉市里親養育包括支援事業受託について
5月29日	(1) 理事の役割分担について
7月7日	(1) 年間スケジュールについて (2) 基金要項について (3) 基金シンポジウム開催について
11月10日	(1) こども・若者未来基金の動画作成費について
2月25日	(1) 第7回通常総会について (2) こども・若者未来基金助成決定について (3) パルシステム給付型奨学金について (4) こども・若者未来基金の今後の在り方の検討について

こども・若者未来基金運営委員会

開催日	主な案件
6月7日	(1) 年間計画について (2) 首都圏若者サポートネットワーク助成金申請について (3) 基金交流会開催について (4) 新型コロナウイルスの聞き取り調査について (5) 基金シンポジウムについて (6) 2020年度資格サポート助成決定者の使途違約について
8月30日	(1) 食糧支援について (2) 社会的養護のこどもの暮らしと自立を考えるシンポジウムについて (3) 基金助成2021年度について (4) クラウドファンディングについて (5) 里親大会について
12月6日	(1) 基金シンポジウム報告 (2) 里親大会報告 (3) 寄付金状況について (4) 基金申請について (5) 緊急サポートSOSについて (6) パルシステム連合会奨学金への推薦について
1月24日	(1) こども・若者未来基金2021助成決定について (2) パルシステム連合会奨学金への推薦について
3月7日	(1) 第7回通常総会について (2) 基金報告会2021について (3) こども・若者未来基金の今後の在り方について

こども・若者未来基金生協実務者会議

5月7日	(1) 2020年度基金助成の結果について (2) 基金報告会について
6月14日	(1) 基金報告会について (2) 基金シンポジウム開催について (3) 食糧支援について (4) 動画作成について
10月4日	(1) 基金シンポジウムについて (2) 寄付募集活動について (3) 食糧支援について
3月23日	(1) 寄付状況について (2) 給付決定状況について (3) 緊急サポートSOSについて (4) 食糧支援報告 (5) 総会及び基金報告会2021について

2. 会員拡大について

- ① 新規加入者が16人増え、会員数は目標を達成しました。
- ② 寄付者の寄付控除については、ニュースレターに掲載して周知を図りました。

		目標		実績			
				2021 年度会費納入 済み会員		会員総数	
		人数・ 団体数	口数	人数・団 体数	口数	人数・ 団体数	口数
運営会員	個人	16 人	20 口	14 人	17 口	18 人	21 口
	団体	5 団体	54 口	5 団体	54 口	5 団体	54 口
おうえん 会員	個人	130 人	160 口	117 人	163 口	160 人	202 口
	団体	10 団体	12 口	7 団体	9 口	9 団体	11 口

\*定款第3章会員第9条(3)に「継続して2年以上会費を滞納したときに、会員の資格を喪失する」とある。実績の会員総数には2020年度会費未納者も含まれる。

2021年度決算報告の活動計算書「受取会費」は、「2021年度会費納入済み会員」数による。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数
自立支援 事業	社会的養護の子ども のくらしと自立を考 えるシンポジウム (第1回)	10月7日(木) 10:00~11:30	オンライ ン	4人	社会的養護の 子どもの自立 支援に関心の ある不特定の 参加希望者 46人
自立支援 事業	社会的養護の子ども のくらしと自立を考 えるシンポジウム (第2回)	10月31日(日) 14:00~16:30	千葉商工 会議所 オンライ ン	4人	社会的養護の 子どもの自立 支援に関心の ある不特定の 参加希望者 104人
貧困家 庭・要支 援家庭の 子どもの 支援事業	ちばこどもおうえん 広場 ・午前:人権懇話会 ・午後:おうえん広場	11月3日(水・ 祝)	オンライ ン	1人	子どもと子ど もの支援に興 味関心のある 不特定の参加 希望者
	ちば子ども虐待防止 研究会第4回研修会	2022年2月23日 (水・祝) 13:00~16:30	オンライ ン	1人	子ども虐待防 止に興味のあ る不特定の参

					加希望者
里親家庭 支援事業	千葉県里親大会	10月9日(土) 14:00~16:30	オンライ ン	4人	里親制度に興 味のある不特 定の参加希望 者 93人
啓発・広 報事業・ 政策提案	SNS や HP を活用した 情報発信	随時	法人事務 所内	1人	不特定多数
	ニューズレターの 発行	7月、12月、3月	法人事務 所内	4人	会員・寄付者 約 280人